

活動報告：第15回南ヶ丘公民館まつり

2012年3月10日、11日の二日間に渡り神奈川県秦野市におきまして「南ヶ丘公民館まつり」に参加させて頂き、「気仙すぎのこ基金」として支援活動を行ないました。

「南ヶ丘公民館まつり」は、地域に密着したおまつりとあって、小さいお子様からお年寄りの方迄、幅広い年代に慕われ毎年盛大に実施されているおまつりです。昨年度は3月12日、13日におまつりが予定されていましたが、東日本を襲った未曾有の大震災が発生し、一時開催が危ぶまれましたが、実行委員会側から「こんな時だからこそ東北を支援しよう！」との掛け声に応じた地域の皆様の協力により、いち早く募金活動に取り組みましたと聞いております。

私達気仙すぎのこ基金サポーターも南ヶ丘公民館まつり実行委員会の皆さんや南ヶ丘連合自治会の皆さん、そして地域の皆さんと共に、「南ヶ丘公民館まつり」に於いて、震災から一周忌を向かえる事になりました。

朝から公民館内では、自慢の作品をとことん狭しに並べられ展示エリアがひとつまたひとつと完成し、また公民館の外では焼き鳥にうどん、すいとんや水飴屋さん他多数のお店が軒を連ねて、スタートの開会式に向けてイベントの準備が着々と進められていました。そんな中、気仙すぎのこ基金は、陸前高田市の様子を紹介した写真パネル展示や写真集の紹介、地元のお菓子で有名な「かもめの玉子」をはじめ津波で倒れた高田松原の松の木で作られたストラップや一本松グッズ及び、写真集等の商品物販を通じて被災地支援を行なうブースを立ち上げました。

おまつりの開会式は、まず始めに昨年の震災で亡くなられた犠牲者へ追悼の黙祷を全員で捧げる事からスタートし、来賓された秦野市市議会議員の方々や実行委員会の方々から震災に対する振り返りや今後の街づくりに対する取り組みが紹介されました。そしておまつりの内容紹介の中では「気仙すぎのこ基金」の協賛を告知して頂きました。その結果「南ヶ丘公民館まつり」に参加された皆さん全員が、当基金を協力して下さい、南ヶ丘連合自治会の皆様は4体の着ぐるみキャラクターでの募金活動や多数の店舗における募金箱設置にご協力してくださいました。また、近隣でバザーの出店を行った団体の皆様は、売り上げ金の全てを「すぎのこ基金」に寄贈して戴ける等の御配慮をして頂きました。更におまつりが始まると同時に、集まった皆様からの暖かい志しとしての募金を戴きました。当ブースへお越し頂いた方々からは、頑張っってね！と暖かい励ましのお言葉を沢山頂き、用意した商品もほぼ完売し、活動に参加した気仙すぎのこ基金サポーター（3月10日：11名、3月11日：12名のスタッフで運営）の支えになった事は言うまでもありません。おまつりの最後には、「南ヶ丘公民館まつり」実行委員長より、「すぎのこ基金」水江副代表へ集まった募金¥128,678(3月10日¥54,897、3月11日¥73,781)が手渡されました。

ご来場頂いた皆様、そしておまつり主催の皆様、気仙すぎのこ基金サポーターを代表して厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

2012年3月